

平成31年 3月12日

保護者 様

佐世保市立祇園中学校
校長 松本 正彦

平成30年度 佐世保市立祇園中学校「学校評価」の結果について(お知らせ)

標記の件につきましては、保護者の皆様には、ご多用のところご協力いただきまして誠にありがとうございました。

結果につきましては、下記のとおりとなりました。また、皆様からいただいた貴重なご意見・ご感想に対しましては、改善すべきところは、改めていくよう努めてまいります。

今回の評価をもとに、次年度もさらによりよい学校づくりへと推進してまいりますので、今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

記

【 4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない 0:わからない 】

質問項目			No.	質問内容	生徒		保護者		職員		全体	
					H29	H30	H29	H30	H29	H30	H29	H30
1	教育活動	1	学校の指導方針は、よく理解でき、特色ある活動をしている	3.5	3.4	3.2	3.0	3.3	3.0	3.3	3.1	
		2	教師は、わかりやすい授業を工夫している	3.4	3.3	3.1	3.0	3.3	3.3	3.3	3.2	
		3	学校は、人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる教育(いじめのない学校づくり)に努力している	3.5	3.4	3.2	3.0	3.4	3.2	3.4	3.2	
2	教育環境	4	学校は、清掃が行き届き、いつもきれいである	3.0	2.9	3.3	3.4	3.0	2.8	3.1	3.0	
		5	学校には、季節の花などがあり、うるおいのある環境である	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.3	3.4	3.3	
		6	学校は、校舎内の危険箇所などへの配慮をし、安全である	3.4	3.4	3.3	3.2	3.3	3.3	3.4	3.3	
3	た開 学か 校れ	7	学校は、家庭への連絡を細かに行っている	3.4	3.3	3.2	3.1	3.3	3.2	3.3	3.2	
		8	学校は、積極的に参加できるような学校行事の工夫をしている	3.4	3.2	3.2	3.1	3.3	3.2	3.3	3.2	
4	生徒活動	9	生徒は、友人と仲良くし、楽しく登校している	3.6	3.4	3.4	3.3	3.3	3.0	3.5	3.3	
		10	生徒は、よくあいさつをしている	3.4	3.3	3.0	3.1	2.7	2.6	3.2	3.0	
		11	生徒は、いじめをしない、許さない生活をしている	3.6	3.4	3.1	3.0	3.0	2.8	3.3	3.1	
		12	生徒は、学校行事など進んで取り組んでいる	3.3	3.2	3.3	3.2	3.5	3.5	3.3	3.3	
		13	生徒は、読書に親しみ、学習に励んでいる	3.0	2.9	3.0	2.9	2.9	3.0	3.0	2.9	
		14	生徒は「当たり前25ヶ条」を心得て生活している	3.1	3.0	3.0	2.9	2.6	2.5	3.0	2.8	
		15	生徒は、落ち着きのある生活を送っている	3.1	3.1	3.0	2.9	2.7	2.7	3.1	2.9	
5	家庭教育	16	家庭では、しつけや基本的な生活習慣が身につくように努力している	3.4	3.4	3.0	3.0	2.8	2.5	3.2	3.0	
		17	家庭では、子どもの将来の夢や希望について話し合っている	3.1	3.0	3.1	3.1	2.8	2.6	3.1	2.9	
		18	家庭では、学校からの連絡文書を読み、期限を守って提出物など提出している	3.3	3.2	2.9	3.0	2.7	2.4	3.1	2.9	
		19	家庭では、PTA活動に積極的に参加している	2.6	2.7	2.4	2.4	2.5	2.6	2.5	2.6	
		20	家庭では、地域行事によく参加している	2.5	2.4	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	2.4	
平 均				3.2	3.2	3.1	3.0	3.0	2.9	3.2	3.0	

《考察》

【評価の高い項目】

- 「教育活動」の3では、普段の生徒指導や計画的な人権教育が充実してきたことが挙げられる。
- 「教育環境」の5・6においては、学校行事等の掲示物の充実や校舎周辺のプランターなどが丁寧に育てられていることが挙げられる。
- 「生徒活動」の9においては、学年や学級、また部活動での友人関係が良好であることが考えられる。
- 「生徒活動」の12では、生徒が体育大会や合唱コンクールなど、学校行事に充実した取組をしていることがわかる。

【評価の低い項目】

- 全体的に本年度は昨年度よりも0.2ポイント、評価が下がった。
- 「教育環境」では、校舎内外の清掃活動の充実が今後の課題として挙げられる。
- 「生徒活動」では、13の読書活動の推進、落ち着きのある学校生活が、本評価での今後の課題として挙げられる。